

ウィズコロナイベント開催における
ワクチン・検査パッケージの検証
報告書

令和4年1月6日

長崎大学熱帯医学研究所

ワクチン・検査パッケージ検証担当

検証全体責任者： 金子 聡 （長崎大学熱帯医学研究所 教授）

抗原検査責任者： 奥村順子 （長崎大学熱帯医学研究所 教授）

抗原検査担当者： 井本敦子 （長崎大学大学院 熱帯学・グローバルヘルス研究科 助教）

森保妙子 （長崎大学熱帯医学研究所 助教）

高橋佳子 （長崎大学大学院 熱帯学・グローバルヘルス研究科 特任研究員）

沼澤彩子 （長崎大学大学院 熱帯学・グローバルヘルス研究科 特任研究員）

谷口真由美 （長崎大学大学院 熱帯学・グローバルヘルス研究科 特任研究員）

吉野康恵 （長崎大学大学院 熱帯学・グローバルヘルス研究科 特任研究員）

吉田益奈子 （長崎大学熱帯医学研究所 特任研究員）

宮道一千代 （長崎大学熱帯医学研究所 特任研究員）

日向綾子 （長崎大学医歯薬学総合研究科 大学院生）

ワクチン接種記録確認・申し込み受付担当者：

下田邦子 （長崎大学熱帯医学研究所 ケニアプロジェクト拠点）

岡 幸子 （長崎大学熱帯医学研究所 生態疫学分野）

迎 保子 （長崎大学熱帯医学研究所 NTDiセンター）

難波祥子 （長崎大学熱帯医学研究所 特任研究員）

新型コロナウイルス診断担当：

柳原克紀 （長崎大学病院検査部部長/大学院医歯薬学総合研究科/医学部 教授）

太田賢治 （長崎大学病院検査部/大学院医歯薬学総合研究科 助教）

アンケート集計・解析担当：

山田敦士 （長崎大学熱帯医学研究所 協力研究員/医学部医学科2年）

内 容

1. はじめに	1
2. ワクチン・検査パッケージの実証と検証	2
1) イベント概要	2
2) イベント準備と実施	2
(1) 長崎県への開催申請	2
(2) ウェブサイトでの公開と申し込み受付開始	3
3) 今回のワクチン・検査パッケージの設計	3
(1) ワクチン接種記録確認に関して	4
(2) 抗原検査に関して	5
4) 参加後の健康調査について(N-CHAT)	7
5) イベント後のワクチン・検査パッケージに関するアンケート調査	7
3. 実施したワクチン・検査パッケージの結果	8
1) ワクチン接種記録確認に関して	8
2) 抗原検査実施に関して	8
3) 参加後の健康調査について(N-CHAT)	9
4) イベント後のワクチン・検査パッケージに関するアンケート調査結果	9
4. 考察	12
1) ワクチン接種記録の確認	12
2) 抗原検査の実施	13
3) 参加者の感想	16
4) 今後の課題	16
5. 結論	17
6. 謝辞	18
(別添 1) イベントポスター	19
(別添 2) 感染防止策チェックリスト	20
(別添 3) イベント申し込みフォーム	21
(別添 4) 登録情報の確認の後に送付したメールの内容	22
(別添 5) 抗原検査結果別 対応の流れ	26
(別添 6) 抗原検査ゾーン担当者対応チェックリスト	26
(別添 7) 抗原検査グループ使用資機材一覧	29
(別添 8) 参加者への検査の手順説明書	30
(別添 9) 抗原検査陽性と判定された方(家族も含む)への説明と対応	32
(別添 10) 抗原検査グループにおける想定 Q&A	32
(別添 11) イベント会場にて実施したワクチン・検査パッケージについての調査	34

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とする行動制限は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、さらには、県独自の緊急事態宣言を介して実施された。人々の外出は制限され、多数の人々が利用する施設の利用は停止となり、飲食店などへの営業時短や休業要請が行われた結果、長崎県のみならず、我が国全体の経済活動の停滞と大きな経済的損失をもたらした。新型コロナウイルス感染症によるさらなる経済活動の停滞や経済損失を避けることを目的に日本国政府は、令和3年11月19日、感染拡大時においても、経済活動を維持するための行動制限緩和の方策である「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」を発表した。

ワクチン・検査パッケージ制度とは、飲食店やイベント主催者等の事業者が、入店者・入場者等の利用者のワクチン接種歴又は検査結果の陰性のいずれかを確認することにより、感染リスクを低減させ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等において課される行動制限を緩和する制度であり、経済活動を維持することを目的としている。観光庁からは、「旅行業・宿泊業におけるワクチン・検査パッケージ運用ガイドライン」も令和3年11月19日に発表されており、人の利用や移動に伴う多くの経済活動への利用も検討されている。

全国的にワクチン・検査パッケージの実証実験が実施されたが、長崎県内においては、実証実験の実施事例はなく、県内において、今後感染が拡大した際に、経済活動を停滞させることなく、イベント実施や飲食、宿泊、そして観光を維持するために必要となる「ワクチン・検査パッケージ制度」の実証、問題点の把握は、今後の経済的損失を防ぐ意味においても重要な作業と考える。

一方で、令和3年11月に南アフリカから最初に報告されたオミクロン株は、感染力も高く、一気に欧米に拡大し、本報告をまとめた段階においても拡大傾向に収まる気配がない。日本においても、海外からの入国者・帰国者を中心として、感染が広がりつつあり、市中感染も増えている。オミクロン株に対するワクチンの効果、重症化への懸念など、不明な点が多く、今後の対策についても、「ワクチン・検査パッケージ制度」により、オミクロン株による第6波が来襲した場合、経済を停滞させずに乗り切れるかの科学的根拠も存在しない。

このような不安定な状況ではあるものの、地域の大学として、さらには、感染症専門家を多く要する大学として、長崎大学は、「ワクチン・検査パッケージ制度」の検証を行い、問題の把握と解決に向けて、検討を行う責務を負っている。そこで、今回、中規模イベント(1000名から1500名の収容人数)を開催することにより同制度の内容を検証し、その運用と問題点の把握を行うこととした。

本報告書は、イベント開催と「ワクチン・検査パッケージ制度」の検証に関する記録と報告であり、今後、オミクロン株への対応も含めて、感染拡大を防ぎながら経済活動を如何に維持するかに関する基礎情報として共有することを目的とする。

2. ワクチン・検査パッケージの実証と検証

1) イベント概要

本イベントの目的は、2 つの目的を持って開催した。はじめにも述べたとおり、一つは、経済活動の再活性化に向けた「ワクチン・検査パッケージ」の検証であり、ひとつは、コロナ禍により抑圧された生活を強いられてきた長崎県民・市民に楽しいトークと音楽により元気を取り戻してもらうことであった。本報告書は、「ワクチン・検査パッケージ」の検証に関する報告であることから、前者に関してのみ、報告する。

以下、イベント内容の概要を示す。(イベントのポスターは別添 1 を参照)

イベントタイトル名: ウィズコロナイベント「風に向かって立つ」

日 時: 2021 年 12 月 9 日(木曜日) 18:00~20:00

入場無料

場 所: 出島メッセ長崎

主 催: 国立大学法人 長崎大学

後 援: 長崎県、長崎市、公益財団法人 風に立つライオン基金、出島メッセ長崎

協 賛: 株式会社 A and Live、社会医療法人 春回会、他

事務局: 長崎大学熱帯医学研究所、長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科

特別協力: 株式会社ティエルエス

出演者:

さだ まさし氏(公益財団法人 風に立つライオン基金 設立者)

高田 明氏(株式会社 A and Live 代表取締役(株式会社ジャパネットたかた創業者))

川原 尚行氏(長崎大学客員教授、認定 NPO 法人ロシナンテス理事長) ※スーダンからオンライン参加

2) イベント準備と実施

(1) 長崎県への開催申請

本イベント開催の準備期間並びに開催時点における長崎県の感染段階は、レベル0であり、令和3年11月19日発表の日本政府による「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」によれば、行動規制緩和の対象となり、安全計画を策定することにより、収容人数定員までの許容人数を収容することは可能であった。従って、「ワクチン・検査パッケージ制度」に準じたイベント実施の必要性はないものの、感染のリスクが無い状態において同制度の検証と確認が必要であるとの判断から、本イベントをワクチン・検査パッケージ制度に準じた対策を行い実施することとした。

また、長崎県の規則に準じ、イベント参加人数が 1,000 名を超えることから、長崎県に対し、事前相談とチェックリストの提出を行った(別添 2)。

(2) ウェブサイトでの公開と申し込み受付開始

令和3年、11月15日(月)の午後3時よりウェブサイト¹⁾においてイベント開催の情報を公開し、同時にウェブでのイベント参加申し込み登録を開始した。ウェブサイトでの申し込み²⁾は、氏名、ふりがな、電話番号、生年月日、年齢(自動入力)、都道府県、住所(都道府県以降)、メールアドレス、ワクチン接種に関する情報、以後、ワクチン接種記録あり(2回目接種後2週間以上経過)の場合とそれ以外の場合で分岐し、前者の場合、ワクチン接種記録の写真の添付、後者の場合、抗原検査の説明と承諾、経過観察への協力の有無、登壇者に聞きたいこと、個人情報の取扱いについての説明と続き、送信ボタンを押すしくみとした(別添3)。送信後、申し込み受付のメールを送信し、イベント事務局において、申し込み内容の確認を行った。確認内容は、ワクチン接種記録に記載のある氏名と申し込み氏名の一致、有効なワクチン記録の確認(ステッカーの添付があるもの)やワクチン接種証明(市区町村、もしくは、公的な機関による発行)の確認を行った。問題の無い場合は、承認し、入場の際に必要な登録情報とのリンクに必要な登録番号を示すQRコードの表示リンク先を記載したメールを送付した(別添4)。有効なワクチン接種記録の無い場合は、氏名、連絡先の確認を行い、承認。同様にQRコードの表示リンク先を記載したメールを送付した(別添4)。ワクチン接種記録の内容に不備がある申し込みについては、受付のできない理由を記載したメールを送付した(別添4)。メールアドレスのご記入、キャリアメールの拒否機能により送信ができない場合は、電話による対応を行った。

3) 今回のワクチン・検査パッケージの設計

本イベントのワクチン・検査パッケージは、令和3年11月19日に日本政府より公表された「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に準じて実施した。同要綱では、ワクチン・検査パッケージ制度を利用した行動制限緩和の適用を受ける場合は、都道府県に登録することとあるが、長崎県においては同制度がまだ開始されていないことから、登録以外の部分に関しての検証を実施した。イベント参加はすべて事前登録制とし、受付会場入口における体温測定の後、申し込み後に発行されたQRコードによりワクチン接種記録の有無を判別し、その後の受付と入場の手続きを別に設けた。

その後、受付と入場の手続きが終了した来場者にはリストバンドの装着により、会場への入場・再入場を可とした。リストバンドはブロック毎に異なる色とし、イベント終了後に感染者が発生した際に周囲の入場者を把握できるしくみにした。



A受付へ

B受付へ

図1. 登録受け付け後に発行されたQRコード。A受付は、ワクチン接種記録ありの場合。B受付は、抗原定性検査受付。

¹ <http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/dejima-lion>

² 集中する申し込みへの対応を考慮し、外部のサーバー、Amazon Web Services (AWS)を用いた。利用に当たっては、クラウドサービス利用申請書を長崎大学情報企画課に提出、審査の後、承認をもって、11月15日から利用を開始した。イベント開催後、14日の観察期間を経て、作業終了後、サーバーを閉鎖した。

以下、ワクチン接種記録が確認されている来場者と接種記録のない(抗原検査)来場者に分けて説明する。

(1) ワクチン接種記録確認に関して

イベント参加はすべて事前登録制とし、ワクチン接種済みの参加申込者については、ワクチン接種記録写真の提出を必須とした。参加申し込み後に、イベント事務局によるワクチン接種記録の記載氏名と参加申し込み氏名の一致を確認の後、入場に際し必要となる QR コード(実際はそのリンク先)を記したメールを登録されたメールアドレス宛に送付した。(送信内容は、別添 4)

ワクチン接種記録の写真に氏名の部分が写っていないもの、ワクチン接種記録であるにもかかわらずワクチンのステッカーの貼付のない部分を撮影したものについては、ワクチン接種が本人のものであることを確認可能な写真の再提出を依頼した。

イベント当日は、本人に送付した QR コードから事前登録情報の読み出し、さらには、登録名と身分証明書による氏名の一致を確認し、入場を可とした。ワクチン接種記録を確認した本人と来場者の一致の確認が目的である。事前登録情報と来場者の一致の確認の後、リストバンドの装着の後、自由な入退場を可とした。

ワクチン接種については、「ワクチン・検査パッケージ制度の実施に係る留意事項等について」(令和 3 年 11 月 19 日、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長)に記載³のあるとおり、発行国・地域を問わず、

1. 以下の全ての事項が、日本語又は英語で記載されていること。
 - ①氏名、②生年月日、③ワクチン名又はメーカー、④ワクチン接種日、⑤ワクチン接種回数
2. 政府等公的な機関で発行された証明書であること。
3. 接種したワクチンのワクチン名／メーカーが、以下のいずれかであること。
 - ①コミナティ(COMIRNATY)筋肉注射／ファイザー(Pfizer)
 - ②バキスゼブリア(Vaxzevria)筋肉注射／アストラゼネカ(AstraZeneca)
 - ③COVID-19 ワクチンモデルナ(COVID-19 Vaccine Moderna)筋肉注射／モデルナ(Moderna)
4. 3. に指定したワクチンを、2回以上接種していることが確認できること。

※ 異なるワクチンを接種した場合も、2回とも3. のいずれかのワクチンを接種している必要がある。
5. 2回目のワクチン接種日から、14 日以上経過していることが確認できること。

により、接種済みとした。

³ https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/certificate_to_Japan.html

(2) 抗原検査に関して

① 抗原検査会場について

ワクチン接種済みの登録者と同様に事前登録を行い、QRコードを持参し、イベント会場において受付を行い、抗原検査会場に誘導した。

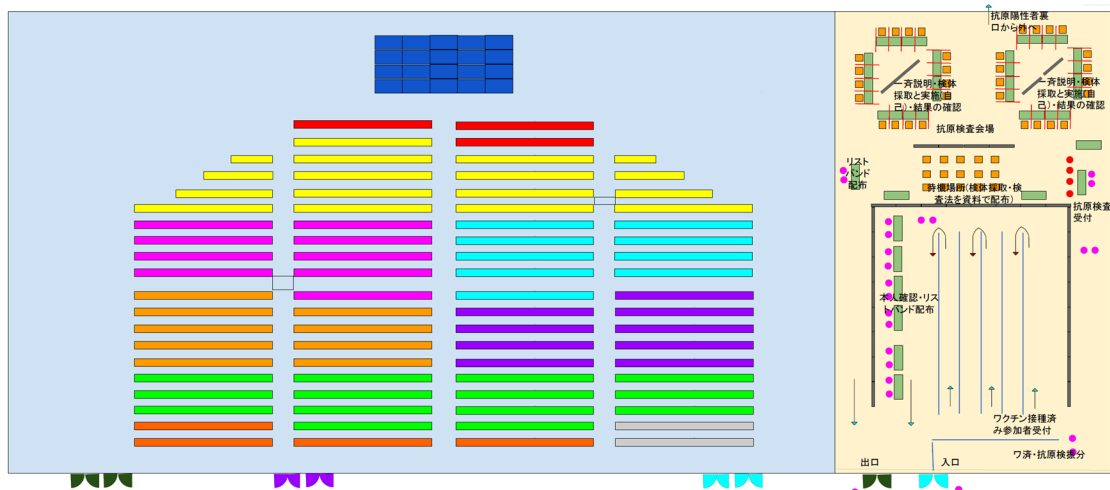


図 2. 受付と抗原検査会場の配置: 出島メッセのコンベンションホールの 4 区画のうち、1 区画(右端)が受付、並びに抗原検査会場とした。右下の入口 1 か所から入場、入場者が提示する QR コードに付記してある A 受付(ワクチン接種済み入場者)、B 受付(抗原検査実施)に振り分け、受付と抗原検査の実施を行った。

コンベンションホールの 4 区画のうちの右端区画を受付と抗原検査会場に割り当て、その入り口に置いて、QRコードを確認、「A 受付へ」は、ワクチン接種記録承認済みで左の受付へ、「B 受付へ」は、奥の抗原検査会場に案内、抗原検査を実施した。

② 抗原検査について

「ワクチン・検査パッケージ制度における抗原定性検査の実施要綱」(令和 3 年 11 月 19 日、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室)に従い、検査管理者を配置し、厚生労働省がホームページ⁴で公開している WEB 教材(「ガイドライン」及び「理解度確認テスト」)による研修を行った。

また、抗原定性検査キットを用いる場合は薬事承認されたものを用いることとあることから同実施要綱で規定されている検査キットのうち、15 分で結果が得られるロシュ・ダイアグノスティックス(株) SARS-CoV-2 ラピッド抗原テストを用いることとした。

⁴ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00270.html

イベント会場における抗原検査は、上記要綱に従い、身分証明書による本人の確認、受検者本人による鼻腔検体採取（鼻咽頭検体採取は、医療行為となる⁵）、受検者自身による検査操作

とした。それらの内容の説明をイベント会場において担当者が受検者に対して行い、最終的な検査結果判断は検査管理者により実施した。

抗原定性検査実施にあたっては、来場者順にグループを設定し、グループ毎に検査の説明と検査の実施を行った。6歳以上の年少者（6歳未満は対象外）については、保護者が検体採取と検査操作を行うこととした。ワクチン・検査パッケージ制度に従い、検査キットの受け渡し後、検体と検査キットの廃棄までの一連の操作は、受検者が自身で行い、検査担当者と触れる機会は一切設けなかった。

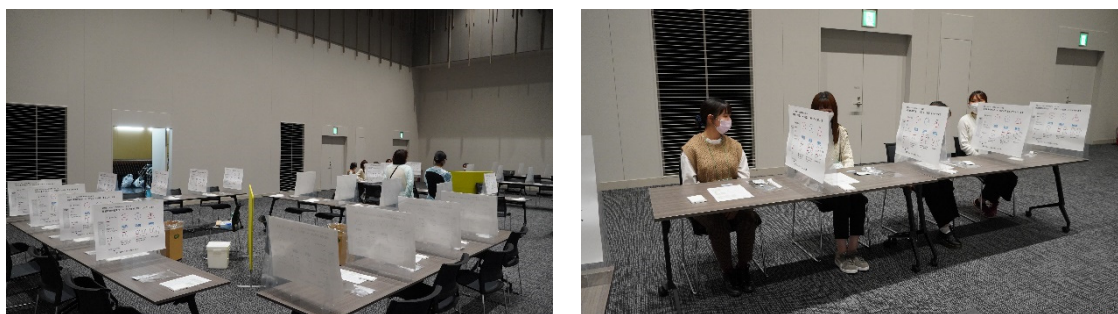


図3. 検査会場のテーブル配置:1グループ16名で、一辺4名の配置で正方形にテーブルを配置した。受検者の間は仕切りを設置し、仕切りに検査方法などの説明を貼付した。口頭による説明を行いながら検体（鼻腔ぬぐい液）の採取、検体の調製、検体の滴下を実施した。最終判断は、検査責任者により実施した。

また、今回は、イベント会場への入場のためのみに実施した抗原定性検査であることから、上記要綱の記載に従い、結果通知書の発行は行わなかった。

③ 抗原陽性者への対応について

抗原定性検査により検査陽性者が発生した際の対応を長崎大学病院、ならびに長崎市地域保健課と協議し、以下の対応を行うこととした。詳細は別添5～10を参照。

1. 長崎大学病院臨床検査科/検査部と長崎市地域保健課に抗原定性検査陽性発生との連絡を入れる。

⁵本人が自身により鼻腔拭いや唾液採取をする場合、医療行為とはみなされず、法令上の制約は生じない。一方、鼻咽腔拭い検体の採取は医療行為であり、医療従事者による採取が必要である。さらに、イベント会場で実施する場合、医療機関以外の場所での採取となることから、巡回健診の届出が必要となる。長崎市の場合、①巡回健診届書類と②巡回健診実施計画書を医療機関から長崎市市民健康部 地域保健課 医事統計係に事前に届け出る必要がある。

2. 検査担当のスタッフが速やかに背後の出口より他の入場者と交わらないよう、会場外に誘導する。

3. イベント会場に待機する長崎大学熱帯医学研究所の車両、もしくは、家族がいる場合は家族の自家用車により長崎大学病院に搬送する。

※抗原検査陽性者を搬送する長崎大学熱帯医学研究所の車両には、運転席と座席の間にビニールシートを貼り、運転担当者は PPE、マスク、ゴーグルの着用、運転時は、運転席側を陽圧とし、後部座席からの空気の流入を防ぐため、エアコンを外気導入とし風量を最大に設定する。

4. 大学病院では、トリアージ室において、鼻咽頭検体の採取を行う。

※今回、大学病院では、検体採取から 1 時間以内に検査結果が得られる FilmArray という体外診断用医薬品として承認されている機器・試薬自動遺伝子検査装置を使うことから、鼻咽頭検体採取となった。

※抗原定性検査は、自主検査という枠組みとなることから、行政検査としての新型コロナウイルス感染症の遺伝子検査には、医師による診断となる。従って、今回、抗原定性検査陽性となった場合には、選定療養費の 5500 円と初診料の 3 割にあたる 870 円の計 6370 円の支払いがイベント会場において陽性となった来場者には発生することを確認した。

5. 抗原検査陽性者は、検査終了まで、トリアージ室において待機。陰性の場合、解放。陽性の場合、長崎市地域保健課（保健所）により行政対応とすることを確認した。

4) 参加後の健康調査について（N-CHAT）

ワクチン・検査パッケージ制度においては、イベント開催前後の健康調査については、義務づけられてはいない。一方で、感染拡大時には、イベント実施後の健康管理を行い、新型コロナウイルス感染症感染疑いの入場者を把握する必要性も発生することが考えられる。今回は、検証という意味合いもあることから、イベント参加者のその後の健康状態についての情報提供の実施可能性を長崎県が企業・団体向けに公開している健康管理システムである N-CHAT（健康管理アプリ）⁶を用いた。イベント開催後、14 日間の健康管理の入力状況を把握した。

5) イベント後のワクチン・検査パッケージに関するアンケート調査

本イベントは、令和 3 年 11 月 19 日に日本政府より公表された「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に準じて開催する長崎県内では初めてのイベント開催であることから、参加者のワクチン・検査パッケージに対する感想、今後の利用に関してのアンケート調査をイベント会場において実施した。web フォームによるアンケート調査を行うことも検討したが、高い回収率を得るためにも、紙面で参加時に記入、提出してもらう方式を採用した。アンケート内容については、別添 11 を参照。

⁶ https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona_nagasaki/n-chat/

3. 実施したワクチン・検査パッケージの結果

最終的に、1188 名の申し込みがあり、最終的に 1002 名が来場した。(186 名は、登録のみで当日来場せず)。長崎大学職員、並びに学生ボランティアの 64 名の入場も加算し、計 1066 名がイベントに参加した。

うち、事前にワクチン接種記録の確認を済ませた入場者が 1024 名、抗原検査による陰性の確認後の入場者 42 名であった。6 歳未満で保護者同伴によりワクチン接種記録なし・抗原検査なしでの入場者は、3 名であった。

年齢分布を図 4 に示す。半数以上が 50 歳～69 歳の年齢層であった。また、70 歳以上の年齢層の入場者も 17%であり、50 歳以上の入場者が全体の 75%を占めた。

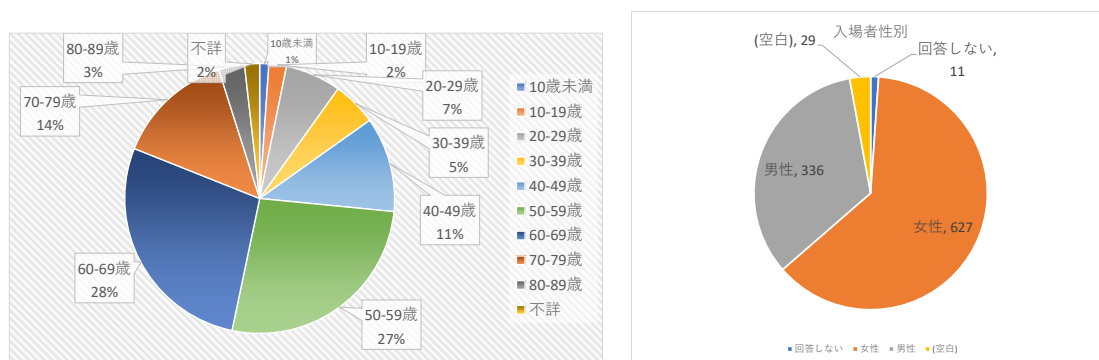


図 4. 来場者の年齢と性別分布

入場者の居住地は、1016 名(95%)の参加者が長崎県であった。残りの 50 名(5%)が、福岡県(27 名)、佐賀県(8 名)、鹿児島県(2 名)、北海道(2 名)、茨城県(1 名)、神奈川県(1 名)、静岡県(1 名)、滋賀県(2 名)、京都府(1 名)、兵庫県(2 名)、愛媛県(1 名)、徳島県(1 名)、山口県(1 名)からの参加者であった。

1) ワクチン接種記録確認に関して

今回、1024 名が来場し、本人の確認不一致者はゼロであった。QR コードからの事前登録情報と身分証明書による本人確認については、問題なく終了し、時間を要することはなかった。今回のワクチン・検査パッケージの検証とは別の問題ではあるが、イベント会場の WiFi のバンドが細く、事前登録情報取得のためのサーバーアクセスが遅く、確認作業に時間を要した。これは、ワクチン・検査パッケージ自体の問題ではないことから、本報告においては、ワクチン接種記録の事前登録ならびに入場時の確認については、問題なく終了したと判断する。

2) 抗原検査実施に関して

最終的に、42 名に対し抗原検査を実施した。検査の結果、全員が陰性であった。また、検体採取の工程、検査操作に大きな問題は見られなかった。ただし、一部の高齢者においては、検体の調

製、検体の滴下などの実施において、個別の説明を要した。また、手の麻痺など障害がある者に対しては、かなりな時間を要したものの、結果的に検査を終えることができた。

3) 参加後の健康調査について (N-CHAT)

イベント参加申し込み時と入場に当たって必要となる QR コードの送付時に N-CHAT への登録と参加を呼びかけた。最終的に 238 名 (23.2%) が N-CHAT に登録し、イベント終了後 14 日間 (2021 年 12 月 25 日まで) の健康記録を提供した参加者は、25 名であった。

37.5℃を越える発熱のあった参加者はなく、有症状も頭痛、咳嗽、関節痛、鼻閉が数名であった。N-CHAT への 238 名の報告日数については、図 5 の通りである。登録のみの申し込み者は、13 名であった。

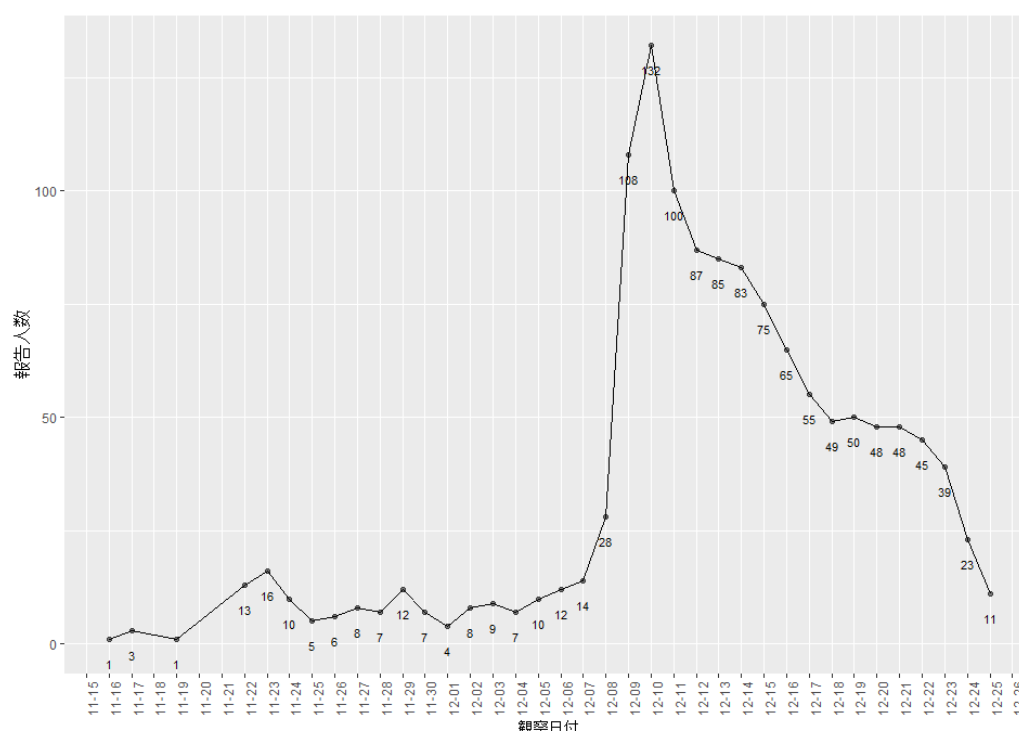


図 5. N-CHAT への日付別の報告人数: 健康報告に関して、イベント開催後、追懐での依頼、催促等は実施していない。翌日の 132 名をピークに報告数が減少している。

4) イベント後のワクチン・検査パッケージに関するアンケート調査結果

<性別・年齢分布>

総回答数 843 名。招待者 (20 名)、スタッフ (54 名) の入場を差し引くと、一般入場は、982 名であり、回答率は、85.6%であった。

以下、年齢と性別の分布を示す。

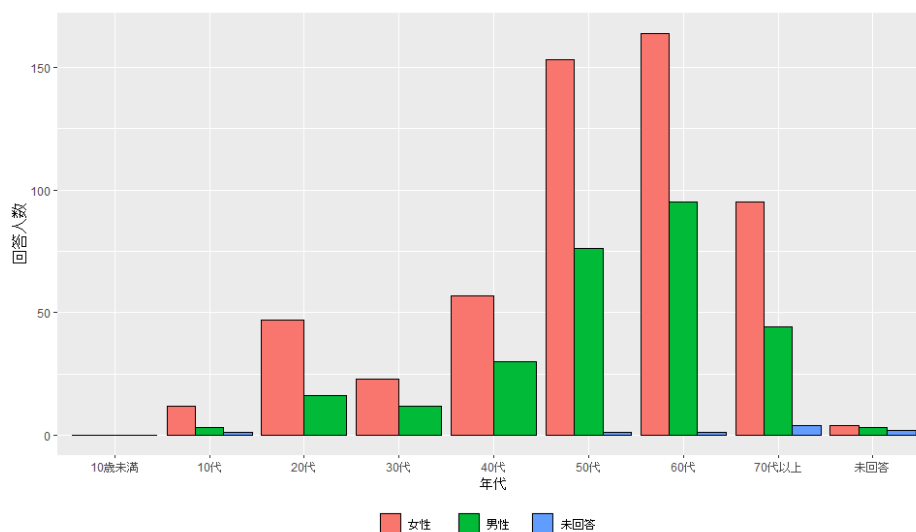


図 6. アンケート調査回答の年齢・性別分布

表 1. アンケート調査の年齢・性別分布

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	総数
女性	0 (-)	12 (75.0%)	47 (74.6%)	23 (65.7%)	57 (65.5%)	153 (66.5%)	164 (63.1%)	95 (66.4%)	4 (44.4%)	555 (65.8%)
男性	0 (-)	3 (18.8%)	16 (25.4%)	12 (34.3%)	30 (34.5%)	76 (33.0%)	95 (36.5%)	44 (30.8%)	3 (33.3%)	279 (33.1%)
未回答	0 (-)	1 (6.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	4 (2.8%)	2 (22.2%)	9 (1.1%)
総数	0 (-)	16 (100.0%)	63 (100.0%)	35 (100.0%)	87 (100.0%)	230 (100.0%)	260 (100.0%)	143 (100.0%)	9 (100.0%)	843 (100.0%)

<ワクチン接種済・抗原検査割合>

表 2. アンケート調査の年齢・性別・ワクチン接種の有無

年代	ワクチン接種済			抗原検査実施			記載なし			総数
	女性	男性	記載なし	女性	男性	記載なし	女性	男性	記載なし	
10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10代	12	2	0	0	0	1	0	1	0	16
20代	42	13	0	5	2	0	0	1	0	63
30代	21	12	0	2	0	0	0	0	0	35
40代	52	28	0	5	2	0	0	0	0	87
50代	148	74	1	5	2	0	0	0	0	230
60代	163	92	1	1	2	0	0	1	0	260
70代以上	92	43	3	1	1	1	2	0	0	143
—	3	3	0	1	0	1	0	0	1	9
Total	533	267	5	20	9	3	2	3	1	843

＜今回実施したワクチン・検査パッケージに関する感想＞

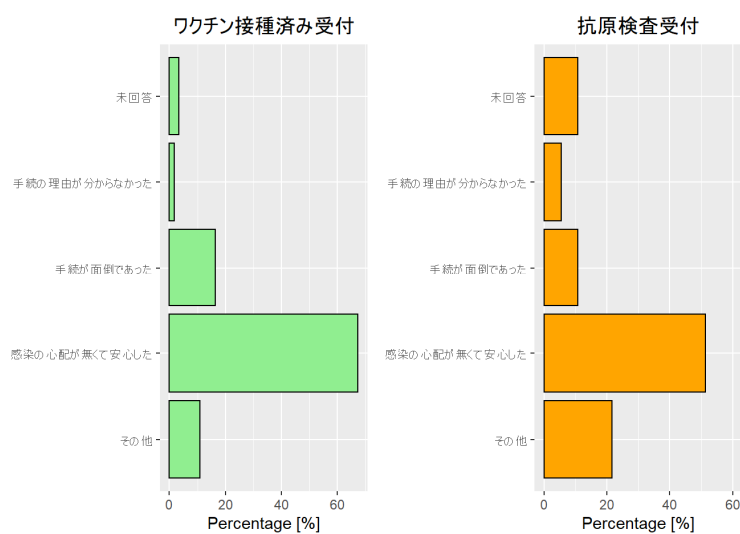


図 7. ワクチン接種済みと抗原検査受付を行った入場者のワクチン・検査パッケージに対する感想

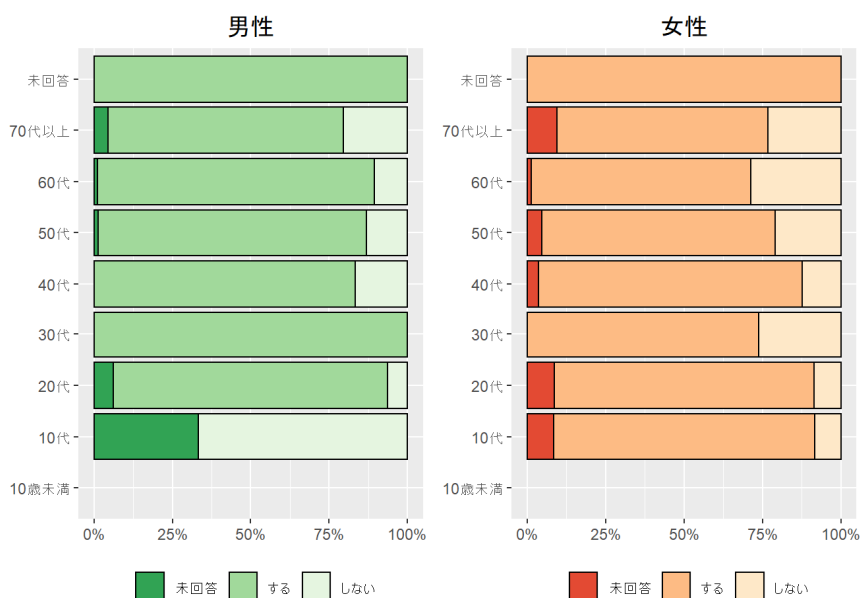


図 8. 「感染が再拡大した場合、本イベントと同様のワクチン・検査パッケージによるイベントの参加や観光、飲食・宿泊の利用をするか？」への質問への回答

表 3. 入場者のワクチン・検査パッケージに対する感想の割合

対応について	ワクチン接種済み受付	割合(ワクチン) [%]	抗原検査受付	割合(抗原検査) [%]
その他	96	10.9	8	21.6
感染の心配が無くて安心した	593	67.4	19	51.4
手続の理由が分からなかった	16	1.8	2	5.4
手続が面倒であった	145	16.5	4	10.8
未回答	30	3.4	4	10.8

＜「感染が再拡大した場合、本イベントと同様のワクチン・検査パッケージによるイベントの参加や観光、飲食・宿泊の利用をするか？」への質問への回答＞

全回答 843 名のうち、利用すると回答した割合は 77.1%(650 名)、利用しないとの回答は、19.0%(160 名)、未回答が 3.9%(33 名)であった。男女別では、男性で利用するのとの回答は 84.6%(236 名/279 名)、女性では 74.1%(441 名/555 名)であった。年代別では、特に女性において、年齢があがるにつれ、利用すると回答した割合が若干減っていた。

感染拡大時に、イベントの開催や観光、飲食、宿泊にワクチン・検査パッケージを利用しないと回答した理由については、69.4%が感染の不安から利用しないとのことであった。

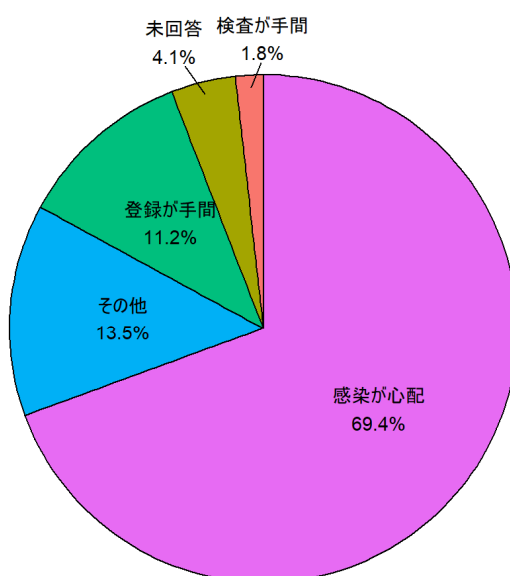


図 9. 感染拡大時にワクチン・検査パッケージを利用しないと回答した理由

4. 考察

本イベント開催に際してのワクチン・検査パッケージに関して、1)ワクチン接種記録の確認、2)抗原検査の実施、3)参加者の感想、4)今後の課題に分けて考察する。

1) ワクチン接種記録の確認

今回、ワクチン接種記録の提示(写真撮影にて登録)から申込者とワクチン接種記録に記載された氏名が同一であることの確認、入場用 QR コードの発行、入場時の QR コードからの登録情報と身分証明書による本人確認を経て、入場とした。目立った混乱や大きな問題は見当たらなかった。細かい点としては、① スマートフォン・コンピュータに不慣れな方が写真の撮影と送信に問題があったこと、② ワクチン接種記録の撮影の際、ワクチンのステッカー部分のみ、もしくは、全く異なる部分を撮影し、送信してきた例(本人確認ができない)があったが、電話での対応、再登録により問題なく、登録作業は終了した。

入場に当たっては、イベント会場の WiFi のバンド幅が狭かったことから、登録用サーバーへのアクセスが遅く、確認作業が遅れた。それ以外について、特に入場に当たっての問題は、生じなかった。

今回のイベント開催でのワクチン接種記録確認の工程を検討した結果、今後、感染拡大時のイベント開催、さらには飲食・観光・移動に「ワクチン・検査パッケージ」制度を利用した場合のワクチン接種記録を用いた入場・入店・乗車の問題は、特には見当たらない。今後、デジタル庁が推し進めている接種証明アプリの利用が拡大することが期待されるが、それを利用できない人々への対応は必要であり、紙面の接種記録を用いた入場・入店・乗車への対応システムも確保する必要がある。さらには、本人確認の厳格化と問題がある接種記録への対応、接種記録にある氏名と来場した本人の氏名が異なる場合への対応などをさらに明確化する必要がある。本イベントにおいても、ワクチン接種後に結婚、改姓となり、ワクチン接種記録にある氏名と参加申し込み氏名が異なる場合が存在した。ワクチン接種証明による入場・入店・乗車管理を行う場合は、古い身分証明書の携帯などの対応を周知する必要がある。

また、オミクロン株に対するワクチン効果に関しての検証が現在進んでいる。ワクチン接種による重症化リスクは軽減されているという報告がある一方で、ワクチンの 2 回接種では、感染予防の効果が無いとの報告がある。今後、新型コロナウイルス・オミクロン株による拡大時において、ワクチン接種によるイベント開催・飲食・観光・移動の許可を行う場合、3 回目接種者に限るのか、追加で PCR 検査や抗原定性検査を必須とするのかなど、更なる検討を要する。

2) 抗原検査の実施

ワクチン・検査パッケージ制度における検査には、PCR 検査、ならびに抗原定性検査が指定されている。また、それらの検査実施時期と場所に関しては、事前検査と当日の検査会場での検査が想定されている。今回のイベント開催においては、イベント会場における抗原(定性)検査を実施することとした。以下、イベント会場における抗原定性検査実施に関しての考察を中心に行う。また、事前に検査を実施する際の問題点についても合わせて検討する。

< イベント会場における抗原定性検査について >

ワクチン・検査パッケージ制度によるイベント開催では、基本的に事前登録を行うことから、抗原検査数の事前把握が可能であることから、検査キットの準備、対応人員、検査会場の準備は比較的容易であった。一方で、以下の問題が浮上した。

1. 被検査者の来場時間等が予測できないままに準備せざるを得なかった。登録時に検査予定表を提示して、希望時間を選択させるなどの工夫が必要。
2. 障害者、小児(6~12 歳)、高齢者については、被検査者と説明者が 1 対 1 もしくは 2 対 1 程度で予定を組む必要あり。ことに、1 名の保護者が、複数の小児を帯同する場合には、事前の把握とスタッフの配置などの準備が必要である。
3. 上記 2 の被検査者自身に鼻腔からスワブで検体を採取してもらった後は、説明者が被検査者の了解を取りながら、試料の調整等を行う事が許可されることを望む。この際に説明者は被検査者との距離を 2m とすることが不可能。この点、検討が必要。

4. イベントに関するチラシや新聞公告を見て来た高齢者(オンラインなしでの来場者)は、ワクチン接種済であるにもかかわらず、接種証明書を持参していなかった。この点の周知方法などの検討が必要。
5. 最終検査受付時間は、イベント開演前に検査を終える設定が望ましい(今回の場合、17 時 30 分)。その際に、ワクチン非接種者が、イベントから排除されているなどの誤解がないように検討する必要がある。
6. 本検査は、本イベントへの参加条件としてのみ有効であるため陰性証明書は、発行していない。この事は、理解が得られたかに見えたが、結果が出ると、スマホにより写真を撮る者が多く、中には、結果が、他の目的でも使用可能であるとの勘違いも散見された。
7. イベント会場において抗原検査陽性とされた者への対応

上記問題の中で、「ワクチン・検査パッケージ」の運用において、最も問題となる事項が、7 のイベント会場において、抗原検査陽性となった場合の対応である。検査陽性者への対応が、「ワクチン・検査パッケージ」の成功の鍵と言っても過言ではない。イベント会場での抗原検査は、いわゆる自主検査に相当し、それだけでは、行政対応となる新型コロナウイルス感染症陽性者としては扱われない。従って、医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染の陽性確定診断を受ける必要が発生する。一方で、新型コロナウイルス感染症に感染している可能性も捨てきれないことから、公共交通機関を用いた移動には、制限を掛ける必要がある。本イベントでは、長崎大学病院検査部の協力を得て、新型コロナウイルスの遺伝子検査を行う手順を取ることにしたが、大学病院への搬送は、以下の対応を行うこととした。① 熱帯医学研究所で準備したワンボックスカーを運転席と座席をビニールシートで区切り、運転者は、ゴーグル、マスク、個人防護具(PPE)の着用とし、窓を閉め、外部からの送風を最大により運転席側を陽圧とし、運用する、もしくは、②家族がいる場合、家族による搬送をお願いすることとした。

今回は、陽性者がいなかったが、感染拡大時には、複数の抗原検査陽性者の発生が予想される。その際、イベント会場から大学病院への搬送を必要とする対象者がある程度の数に上ることになる。また、「ワクチン・検査パッケージ」の対象となるイベント規模は、内閣官房による「国民の仕事や生活の安定・安心を支える日常生活の回復」⁷によると重点措置区域指定において、2 万人まで、緊急事態措置区域においては、1 万人までの収容を可としており、そのような大規模イベントにおいては、多くの抗原検査陽性者が発生することが予想される。イベント会場における検査実施に関しては、イベントの規模、検査陽性者の病院への搬送(確定診断のための)、偽陽性者への感染の防止等を考慮して実施する必要がある。

また、イベント会場における検査では、確定検査とはなり得ないことから、検査陽性となった場合、医療機関の受診が必要となる。その際の初診料の支払いが発生することから、これらの内容を事前に説明し、申込者から承諾を得ておく必要がある。「ワクチン・検査パッケージ」制度における検査陽性者に対しては、初診料を無料にするなどの措置が必要と考える。

⁷ 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策ウェブサイト <https://corona.go.jp/package/>

以上のように、イベント当日の会場における抗原検査(PCR検査も同様)を実施する場合、検査会場の設置、検査実施の準備、当日の検査対象者への説明と実施の監視、陽性者発生時の対応、病院との事前の調整、病院への搬送とイベント開催者への負担が大きい。可能な限りイベント参加希望者の居住地近くので検査所若しくは検査センター(検査陽性後の対応も準備されていることが望ましい)において事前に検査を行い、その陰性証明を持って、イベントに参加することで混乱の無い入場管理が実施できる。とくに、大規模となるイベントの場合、長崎県内外からの参加も多くなることが予想されることから、長崎県・長崎市のみならず、全国規模での検査所・検査センターの設置が望まれる。また、「ワクチン・検査パッケージ」制度要綱に関する Q&A⁸ によると検体採取日(検体採取日が不明な場合は検査日)の3日後までPCR検査については有効であり、抗原定性検査については、検体採取日(検査日)の翌日までとなっている。従って、頻回の検査が必要となることから、円滑なイベント開催にむけては、全国的な検査所・検査センターの設置が必須となる。また、感染性がデルタ株以上に高いオミクロン株出現による新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を受け、今後、感染拡大時には、ワクチン接種者に対してもイベント参加時の検査陰性の提示が必要になる可能性もある。感染拡大がない、感染が広がっても重症化リスクが極めて低いと判断されるまでの間、全国的に検査を気軽に、安価で受けることが可能となる仕組みを構築する必要がある。

全国的な検査所・検査センターの設置は、イベント開催のみならず、飲食・宿泊・観光・移動にワクチン・検査パッケージ制度を利用する際にも、有効である。気軽に検査を受け、陰性証明を持って入店できるようになれば、感染拡大のリスクも抑えることが可能になり、さらには、利用客にとっても安心した来店やサービスの利用の機会を与えることが可能となる。経済を止めることなく、感染対策を実施する上で、重要な要素と考える。また、検査陽性となった場合の措置、対応も重要である。陽性者(感染疑い)を検査所・検査センターから医療機関に搬送し、他者と紛れることなく受診させ、確定診断に至らしめるまでのルート確保と対応も重要である。

長崎県議会定例議会において、先日、ワクチン接種や検査の陰性証明により行動制限の緩和を図る「ワクチン・検査パッケージ制度」の導入に必要な経費などを盛り込んだ、一般会計の総額で32億2700万円となる補正予算案が追加で提出され、採決された。補正予算案では、ワクチン接種や検査の陰性証明により行動制限の緩和を図る「ワクチン・検査パッケージ制度」の導入にあたり、薬局や民間の検査機関、それに県独自に設置する検査の専用ブースでPCR検査などを行うための体制整備にかかる費用として3億500万円。健康上の理由などでワクチンの接種ができない人が、無料で陰性証明のためのPCR検査を受けるのに必要な費用などとして14億700万円が盛り込まれている。これらの制度が今後、効率よく運用されることが、経済活動の安定化に必要である。

⁸ https://corona.go.jp/package/assets/pdf/vaccine-package_qa_20211222.pdf

3) 参加者の感想

イベント終了後に参加者から提出してもらったアンケートの結果、ワクチン接種済みの入場者においても、抗原検査陰性による入場者にも、感染の心配が無く安心したとの回答が多く得られた(それぞれ、67.4%、51.4%)。手続が面倒、手続の意味が分からないという回答も散見されたが、全般的に、参加者の多くは、今回実施した「ワクチン・検査パッケージ」に準じた仕組みに対し、肯定的な意見を持っていることが明らかとなった。

また、今後、「ワクチン・検査パッケージ」制度を利用したイベントへの参加や観光、飲食、宿泊の利用をするか?の質問についても、多くの回答者が「利用する」と回答しており、今後、使いやすい、効率的な制度の運用が経済活動維持の決め手になる。また、利用しないと回答した参加者の理由は、「感染が心配」が最も多く、感染対策の徹底と感染への不安の払拭が今後の課題となる。

4) 今後の課題

「ワクチン・検査パッケージ」制度要綱が発表された令和3年11月19日は、まだオミクロン株の出現が公表(令和3年11月24日に南アフリカから報告)される前であった。現在、同変異株は、世界を席卷し、ほぼデルタ株から入れ替わりつつある。我が国においても、オミクロン株の感染の報告が増えつつあり、今後オミクロン株への対応が必須になるものとする。この変異株をどのように扱うのかにより今後の「ワクチン・検査パッケージ」制度の運用が変わることは容易に予想される。本報告書作成時点での世界的な疫学調査によると、オミクロン株は、デルタ株に比べて、

- ① 感染性が高いこと、
- ② 重症化するリスクは少ないこと、
- ③ ワクチン2回接種の感染予防効果は低く、3回目の感染予防効果はあること、
- ④ 3回目接種による免疫のブースター効果は、(感染予防効果があるものの)デルタ株に比べて、弱いこと

が、報告されている⁹。

これらの情報だけでは、今後の対応を決めがたく、更なる疫学データの収集と解析が必要であるものの、感染性が高く、さらにワクチン接種者や既感染者への感染もあり得ることは確実であり、感染の拡大は必至である可能性が高い。従って、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症が拡大した場合の「ワクチン・検査パッケージ」制度の運用については、再検討が必要である。ワクチン接種2回終了者にも検査陰性提示を求める一方で、3回目接種者への感染については、感染リスクが低くなることから、3回目接種者については検査証明をなしとする、もしくは、接種後

⁹ オミクロン株に関する疫学調査の報告(英国(イングランド)、南アフリカ、デンマークからの報告)

(1) Lyngse, F. P., Mortensen, L. H., Denwood, M. J., Christiansen, L. E., Møller, C. H., Skov, R. L., Spiess, K., Fomsgaard, A., Lassaunière, M. M., Rasmussen, M., Stegger, M., Nielsen, C., Sieber, R. N., Cohen, A. S., Møller, F. T., Overvad, M., Mølbak, K., Krause, T. G., & Kirkeby, C. T. (2021). *SARS-CoV-2 Omicron VOC Transmission in Danish Households*. 1-31.

(2) Wolter, N., Jassat, W., Walaza, S., Welch, R., Moultrie, H., Amoako, D. G., Everatt, J., Bhiman, J. N., & Scheepers, C. (2021). *Early assessment of the clinical severity of the SARS-CoV-2 Omicron variant in South Africa*. 1-23.

(3) England, O., Ferguson, N., Ghani, A., Cori, A., Hogan, A., Hinsley, W., & Volz, E. (2021). *Report 49: Growth, population distribution and immune escape of December*, 1-10.

の時間により検査証明を課すなど、今後、議論がなされるべきである。これまでのオミクロン株の報道から、一般への不安が広がっており、イベント参加者もしくは、飲食、宿泊、移動のサービス利用者にとっては、ワクチン接種証明の有無にかかわらず、陰性証明があった方が安心できると予想できる。「ワクチン・検査パッケージ」制度を含めた、オミクロン株感染対応の措置は、少なくとも、感染が拡大している期間、そして、感染後重症化するリスクのある高齢者への 3 回目の接種終了までは継続する必要があるかもしれない。今後の感染拡大の度合いや感染者の重症度化の可能性などを加味した判断が求められる。

5. 結論

今回、「ワクチン・検査パッケージ」制度に準じ、ワクチン接種記録の確認もしくは、抗原定性検査陰性による入場制御による中規模のイベントを開催した。ワクチン接種記録の確認と入場制限については、特に問題となる事項は発生しなかった。今後、デジタル庁が発行するワクチン接種記録の効率的利用の進め方についての検討が必要である。

イベント会場における抗原定性検査に関しては、抗原検査により陽性と判断された来場者の扱いが今後の課題であることが明らかとなった。イベント会場での検査実施の際は、陽性となった来場者を医療機関に搬送する手段、受け入れる医療機関の確保、医療機関受診時の初診料の支払いに関する事前同意などが必要である。特に、ワクチン・検査パッケージ制度は、感染拡大時に適用され、さらには大規模イベントに対して用いられる制度である。従って、検査陽性者が多く発生することが予想され、イベント開催側への負荷が大きい。同制度を感染拡大時の飲食、観光、宿泊、移動に適用することも考慮すると、現場での検査実施には困難が伴う。従って、感染拡大時の検査に対応する検査所・検査センター等を市中に設置し、事前に検査を受けることができる体制を整える必要がある。その際、検査陽性者に関して、検査所・検査センターと保健所、医療機関との情報共有の仕組みも構築する必要がある。

「ワクチン・検査パッケージ」の受け入れに関しては、多くの入場者が、「感染の心配が軽減され安心した」との感想であった。今後の感染拡大時での利用についても、概ね肯定的な意見であり、今後の同制度を利用したイベント開催、さらには、飲食、宿泊、観光、移動への応用による経済活動の維持継続が期待される。

一方で、オミクロン株が拡大傾向にあり、新型コロナウイルス感染症拡大時の「ワクチン・検査パッケージ制度」の適用状態になることが予想される。しかし、オミクロン株は、これまでの変異株と比べ、感染性が高いことが指摘されている。ワクチン接種者への感染も多く報告されていることから、今後、ワクチン接種者であっても、検査陰性の証明が必要となる可能性もある。一方で、重症化リスクが低いとは評されているものの、その実態はまだ明らかではなく、今後の対応は、重症化の可能性を考慮したものにならざるを得ない。いずれにせよ、感染拡大を制御しつつ、経済活動を維持するためには、感染拡大時に検査を気軽に受けることを可能とする全国規模での検査所・検査センターの設置の整備と維持、感染対策と経済の両立を図るための仕組みと人々に安心感をあたえる情報提供体制の維持、高齢者や重症化リスクを抱える人々への早期の 3 回目ワクチン接種の実施、治療薬の早期の適用が重要となる。

6. 謝辞

「ワクチン・検査パッケージ」検証とコロナ禍により抑圧された生活を強いられてきた長崎県民と長崎市民へのエールを送るため、本学主催のイベント「風に向かって立つ」へのご出演を快くお引き受け頂いた さだまさしさん、高田明社長、そして、スーダンからオンライン参加した頂いた川原尚行先生には、感謝の意を表するとともに、本イベント開催への協賛ならびに準備・運営・実施に関して協力頂いた企業・団体様に深く御礼を申し上げます。また、後援の長崎県、長崎市、公益財団法人 風に立つライオン基金様、出島メッセ長崎様には、多くのご支援を頂いた。また、本イベント開催に向け準備段階から支援頂いた河野茂学長、福永博俊理事、熱帯医学研究所の森田公一所長、熱帯医学・グローバルヘルス研究科の北潔研究科長、広報戦略本部長の松井史郎副学長には、謝意を表する。当日、イベント会場において、会場運営に協力頂いた大学職員各位、長崎大学医学部熱帯医学研究会、ししのこプロジェクトの学生諸君、イベント会場において抗原検査を担当された熱帯医学研究所の奥村順子教授をはじめとした抗原検査チームの皆様におかれては、事前準備から当日の抗原検査の実施に至るまで大変な作業をお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。抗原検査での陽性者発生時の検討と対応にご尽力頂いた長崎大学病院の柳原克紀教授、泉川公一教授、太田賢治助教、そして、長崎市市民健康部地域保健課の篠崎義行様におかれては、事前の準備にあたり、多くの対応と支援を頂いた。心から感謝する次第である。

最後に、本イベント開催に向け、夜遅くまでメールや電話対応をしてくれた熱帯医学研究所生態疫学分野とNTDi センター秘書と研究員の皆さんたちの熱意と行動力無くしては、本イベントの開催は不可能であった。最後に、彼らに謝意を送りたい。

(別添 1) イベントポスター



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

一緒に歩み出しませんか？
長崎大学と一緒に
風に立つライオンの如く

新型コロナウイルス感染症との共存
ウィズ・コロナイベント

風に向かって立つ

WITH CORONA EVENT 2021

入場無料
※但し事前登録が必要です。

TALK LIVE & MUSIC LIVE



×



×



ゲスト
さだまさし氏
公益財団法人 風に立つライオン基金 設立者

高田 明氏
株式会社 A and Live 代表取締役 (株式会社ジャパネットたかた創業者)

川原 尚行氏
長崎大学客員教授、認定NPO法人ロシナンテス理事長
※スーダンからオンライン参加

2021.12.9 THU

18:00-20:00

出島メッセ長崎

〒850-0058 長崎市尾上町4-1

長く続くコロナ禍を経て疲弊した長崎を再び元気に、そして活力を取り戻すため、さだまさし氏、ジャパネットたかた創業者の高田明氏、アフリカで活躍する医師川原尚行氏をゲストとして迎え開催する講演会+歌による長崎応援イベントです。多くの方々のイベント参加をお待ちしております。

ゲストのトーク、さださんの歌で長崎に元気を！

本イベントは、ウィズ・コロナにおける長崎でのイベント実施に向けた基礎情報を得ることも目的としています。イベント参加者には、ワクチン接種記録の提示、ワクチン接種をされていない参加者には、抗原検査を受けて頂きます。本イベントで収集した情報は、今後の県内・市内のイベント実施に活用する予定です。皆様のご理解とご協力が長崎を元気にします。ご理解を宜しくお願い致します。

<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/dejima-lion/>



主催：国立大学法人長崎大学
後援：長崎県 長崎市 公益財団法人 風に立つライオン基金 出島メッセ長崎
事務局：長崎大学熱帯医学研究所 長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科
特別協力：株式会社ティエルエス



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE WIND-UP LION FOUNDATION

(別添 2) 感染防止策チェックリスト

【別紙 1】感染防止策チェックリスト					
事前相談年月日 令和3年11月8日					
STEP 1 催物の情報		長崎県を中心とした一般を対象とした対談と歌によるイベント			
催物の名称		ウィズコロナイベント:「風に向かって立つ」			
催物の概要		コロナの出口が垣間見える中、経済を、人の交流を、そして、元気な若者と長崎を成し遂げるため、コロナを含めた現状の障壁を「打ち破る」をキーワードに、「風に立つライオン」の作者であるさだまさしさん、ジャパネットたかたの創業者の高田明氏をお迎えして、現状の打破、外に飛び出せ！を主題（コンセプト）に、市民を対象に対談会プラス歌による長崎応援会を企画する。			
※催物のチラシや計画書等（既存資料）を併せてご提出ください。		また、長崎大学が主体に、長崎県、長崎市とともに、ウィズコロナの状況に置けるイベント開催において、必要となるプロセス、問題点を把握すべく、ワクチン検査パッケージに準じた対策を講じたイベントを開催する。			
開催日時		令和3年 12月 9日 18時00分 ～ 20時00分			
		※複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。			
開催場所		会場名		出島メッセ長崎	
		住所		長崎県長崎市尾上町4-1	
収容定員	☒	1,900		人	☐
適切と考える収容率（上限）	☒	収容定員の100%以内		☐	密にならない程度の間隔
	☐	収容定員の50%以内		☐	十分な人と人との間隔（1m）
参加人数	1,500名				
出演者チーム等	さだ まさし氏 （「風に立つライオン基金」創設者） ※確定				
	高田 明氏 （株式会社A and Live代表取締役） ※確定				
※多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。					
相談者	所 属	長崎大学熱帯医学研究所環境医学部門生態疫		代表者役職・氏名	教授・金子聰
	担当者役職・氏名			電話番号	095-819-7866
	E-MAIL	skaneko@nagasaki-u.ac.jp			
	開催案内等URL				

(別添 3) イベント申し込みフォーム

ワクチン接種記録ありの場合

氏名	
ふりがな	
電話番号	※ハイフン (-) ありで入力してください。
生年月日	年 / 月 / 日
年齢	※変更できません
性別	選択してください
都道府県	選択してください
住所（都道府県以降）	
メールアドレス	 携帯のキャリアメールなどを入力される際は、「@ts-kmj.com」をドメインメールの受信ができるように設定をお願いします
ワクチン接種	接種後 2 週間以上経過 新型コロナウイルスワクチン接種を完了してから 2 週間以上経過しました。
ワクチン接種記録または接種証明	写真を選択
経過観察	選択してください このイベントでは、新型コロナウイルス感染症の重症試験として、イベント後2週間の参加者の感染状況の調査を行います。フォローアップ調査にご協力いただけます。
登壇者に聞きたいこと	
個人情報について	当予約システムで収集する個人情報については、イベントの受付・イベント開催後の感染状況調査（感染が発生した際の対応）のみに利用するものといたします。個人情報の取り扱いに関しては個人情報の保護に関する法律等の法令を遵守し、長崎大学個人情報保護規則、長崎大学個人情報管理規程に基づき、個人情報の漏えい、滅失又は毀損の防止その他個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。本サービスにおけるお問合せは、イベント事務局 国立大学法人長崎大学 熱帯医学研究所までお申し出ください。 上記利用目的に同意した上で申込みます□
送信	

ワクチン接種記録なしの場合（抗原検査対象）

氏名	
ふりがな	
電話番号	※ハイフン (-) ありで入力してください。
生年月日	年 / 月 / 日
年齢	※変更できません
性別	選択してください
都道府県	選択してください
住所（都道府県以降）	
メールアドレス	 携帯のキャリアメールなどを入力される際は、「@ts-kmj.com」をドメインメールの受信ができるように設定をお願いします
ワクチン接種	接種後 2 週間未満または未接種 新型コロナウイルスワクチン接種を完了してから 2 週間以上経過しました。
抗原検査の承諾	選択してください イベント当日会場にて抗原検査を行います。抗原検査には 15～20 分ほどお時間がかかる為、観覧時間に間に合わない可能性があります。あらかじめご了承ください。抗原検査の結果が陽性だった場合のみ、ご入場いただけます。 イベント会場にて抗原検査が陽性となった場合、長崎大学病院を受診して頂きます。大学病院までの送迎はイベント事務局で準備する予定です。その際の検査は、医師の判断による新型コロナウイルス感染症の行政検査となり、検査料金は公費負担で無料となりますが、医師の判断が必要です。必要となることから初診料が発生し、お支払いの必要があります。ワクチン接種を完了していない方、2回目のワクチン接種を終えて、イベント開催日まで2週間を経過していない参加希望の方におかれましては、あらかじめご連絡をお願い致します。
経過観察	選択してください このイベントでは、新型コロナウイルス感染症の重症試験として、イベント後2週間の参加者の感染状況の調査を行います。フォローアップ調査にご協力いただけます。
登壇者に聞きたいこと	
個人情報について	当予約システムで収集する個人情報については、イベントの受付・イベント開催後の感染状況調査（感染が発生した際の対応）のみに利用するものといたします。個人情報の取り扱いに関しては個人情報の保護に関する法律等の法令を遵守し、長崎大学個人情報保護規則、長崎大学個人情報管理規程に基づき、個人情報の漏えい、滅失又は毀損の防止その他個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。本サービスにおけるお問合せは、イベント事務局 国立大学法人長崎大学 熱帯医学研究所までお申し出ください。 上記利用目的に同意した上で申込みます□
送信	

(別添 4) 登録情報の確認の後に送付したメールの内容

<ワクチン接種記録の確認が取れた申込者に対する連絡>

%ApplicantName%様

この度はウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」へのお申し込みありがとうございます。

先日お申し込みいただきました内容を確認いたしましたので、入場用コードを発行しました。
当日は身分証明書とともに、下記の URL の画面を受付にご提示ください。
※印刷したものを提示頂いても構いません

提示用 URL

<https://event.tls-kmj.com/auth/%AuthorizeID%>

ご来場時はワクチン接種済み受付(A 受付)へお越しください。

※当日は 16 時より受付を開始します。

受付での混雑を回避するため、早めの来場をお願いいたします。

※受付は、18 時 30 分ごろまでとさせていただきますが、遅れる可能性のある場合は、電話、メールにてウィズ・コロナイベント事務局まで、ご連絡下さい。

また本イベントの終了後、参加頂いた皆様の健康状態の経過観察を、
長崎県健康管理チャットサービス「N-CHAT」(エヌチャット)で行うことを推奨しております。
「N-CHAT」は、毎日の体温や体調をスマートフォンやパソコンからチャット形式で入力するものです。
各入力は 1 分程度となります。

N-CHAT を利用するには新規に登録する必要がありますので、

○団体番号: 51011148100

○あなたの ID: %AuthorizeID%

をご登録ください。

N-CHAT 登録用 URL

https://dashboard11.chordship.global.fujitsu.com/nshome-chat-ui/biz_healthcheck.html?p=2814&i=nagasaki

また詳細な登録方法につきましては、

「風に向かって立つ」イベントサイトにも記載しておりますので、ご確認ください。

http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/dejima-lion/?page_id=6056

ぜひとも N-CHAT への登録とご利用にご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

*このメールは、「風に向かって立つ」入場申込みフォームより自動送信されたメールです。

このメールに返信頂いてもご回答いただくことはできません。

お問合せに関しては、下記連絡先までお願いいたします。

////////////////////////////////////

ウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」

主催: 国立大学法人 長崎大学

事務局: 長崎大学 熱帯医学研究所

TEL: 095-819-7860

MAIL: withcorona_event@tm.nagasaki-u.ac.jp

////////////////////////////////////

<ワクチン接種記録のない申込者に対する連絡>

%ApplicantName%様

この度はウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」へのお申し込みありがとうございます。

先日お申し込みいただきました内容を確認いたしましたので、入場用コードを発行しました。
当日は身分証明書とともに、下記の URL の画面を受付にご提示ください。
※印刷したものを提示頂いても構いません

提示用 URL

<https://event.tls-kmj.com/auth/%AuthorizeID%>

ご来場時は抗原検査受付(B 受付)へお越しください。

※当日は 16 時より受付を開始します。

抗原検査の対象となっておりますので、ご来場時は抗原検査用受付へお越しください。抗原検査には、20 分ほどの判定時間を要します。お早めにお越し下さい。

※イベント会場での抗原検査の受付は、18 時 30 分までとさせていただきます。18 時 30 分に受け付けをおこない検査を行った場合、陰性であっても入場は 19 時近くになりますのでご了承下さい。

※また、抗原検査で陽性となった場合、新型コロナウイルスに感染している可能性が高いことから、長崎大学病院を受診して頂きます。医師の判断の下、新型コロナウイルス感染症に対する行政検査(公費負担で検査)を受けて頂きます。行政検査を受けるにあたり、医師の診断が必要となりますので、病院受診の初診料が必要となります。あらかじめご了承下さい。

また本イベントの終了後、参加頂いた皆様の健康状態の経過観察を、
長崎県健康管理チャットサービス「N-CHAT」(エヌチャット)で行うことを推奨しております。
「N-CHAT」は、毎日の体温や体調をスマートフォンやパソコンからチャット形式で入力するものです。
各入力は 1 分程度となります。

N-CHAT を利用するには新規に登録する必要がありますので、

○団体番号: 51011148100

○あなたの ID: %AuthorizeID%

をご登録ください。

N-CHAT 登録用 URL

https://dashboard11.chordship.global.fujitsu.com/nshome-chat-ui/biz_healthcheck.html?p=2814&i=nagasaki

また詳細な登録方法につきましては、
「風に向かって立つ」イベントサイトにも記載しておりますので、ご確認ください。
http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/dejima-lion/?page_id=6056

ぜひとも N-CHAT への登録とご利用にご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

*このメールは、「風に向かって立つ」入場申込みフォームより自動送信されたメールです。
このメールに返信頂いてもご回答いただくことはできません。
お問合せに関しては、下記連絡先までお願いいたします。

////////////////////////////////////
ウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」

主催: 国立大学法人 長崎大学

事務局: 長崎大学 熱帯医学研究所

TEL: 095-819-7860

MAIL: withcorona_event@tm.nagasaki-u.ac.jp

////////////////////////////////////

<ワクチン接種記録の内容に不備がある申込者への連絡>

%ApplicantName%様

今回はウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」へお申し込みいただきまして誠にありがとうございます。

お申し込みいただきました内容を確認しましたところ、受付が出来ませんでした。
ご来場をご希望の方は下記の点をご確認いただき、改めてイベント参加フォーム

<https://event.tls-kmj.com/event/1>

よりお申し込みください。

【ご確認頂きたい内容:新型コロナワクチン接種記録／接種証明の画像について】

- ・アップロードする画像が申込者本人の接種記録／証明であるか
- ・画像が不鮮明でないか
- ・ワクチン接種の際に記録に貼付されたワクチンのステッカーが写っているか
- ・ご自身のワクチン接種記録であることを示すためのご自身の氏名の記載がワクチン接種記録に記載されているか

(ご自身の名前のない画像をご利用の場合、ご自身のワクチン接種記録であるとの確認が出来ません)

- ・公的な自治体／機関が発行した記録／証明であるかどうか 他

なお、接種記録/接種証明がない方、不備により申し込みができない方は、イベント参加フォーム「ワクチン接種」の項目で「接種後 2 週間未満または未接種」を選択してください。

イベント当日、抗原検査を受けていただき、結果が陰性だった場合のみ、ご入場いただけます。

*このメールは、「風に向かって立つ」入場申込みフォームより自動送信されたメールです。

このメールに返信頂いてもご回答いただくことはできません。

お問合せに関しては、下記連絡先までお願いいたします。

////////////////////////////////////
ウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」

主催: 国立大学法人 長崎大学

事務局: 長崎大学 熱帯医学研究所

TEL: 095-819-7860

MAIL: withcorona_event@tm.nagasaki-u.ac.jp

////////////////////////////////////

<2 週間後のフォローアップの連絡>

%ApplicantName%様

先日はウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」へご来場いただき、誠にありがとうございました。
(本メールは、メールによる経過観察に同意された方々にお送りしております)

N-CHAT にて、健康状態についての確認にご協力頂けた皆様にも御礼申し上げます。
本日をもって、イベント開催後、14 日目となります。N-CHAT による健康確認を本日にて、終了とさせていただきます。
ご協力、本当にありがとうございました。

また、N-CHAT での健康確認にご参加頂けませんでした方がたにおかれましては、以下の症状がイベント終了から本日までにございましたら、イベント事務局宛に、28 日までにお返事(メール)を頂けると幸いです。

- ・37.5℃以上の発熱、
- ・のどの痛み
- ・鼻水
- ・せき
- ・下痢
- ・鼻づまりがないのに 臭いや味がしない

これをもちまして、ウィズコロナイベント「風に向かって立つ」は、イベント後の健康確認も含め、完結となります。
ご参加頂きました皆様方のご協力とご支援にイベント事務局一同、深く感謝すると共に、厚く御礼を申し上げる次第です。

なお、当日の内容を以下のサイトに紹介しております。
http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/dejima-lion/?page_id=6177
お時間がございましたら、ご覧頂けると幸いです。

今年も残り1 週間となりました。あたらな年が皆様にとって、幸多き年となりますよう。

ウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」事務局一同

*このメールは、「風に向かって立つ」入場申込みフォームより自動送信されたメールです。
このメールに返信頂いてもご回答いただくことはできません。
お問合せに関しては、下記連絡先までお願いいたします。

////////////////////////////////////
ウィズ・コロナイベント「風に向かって立つ」

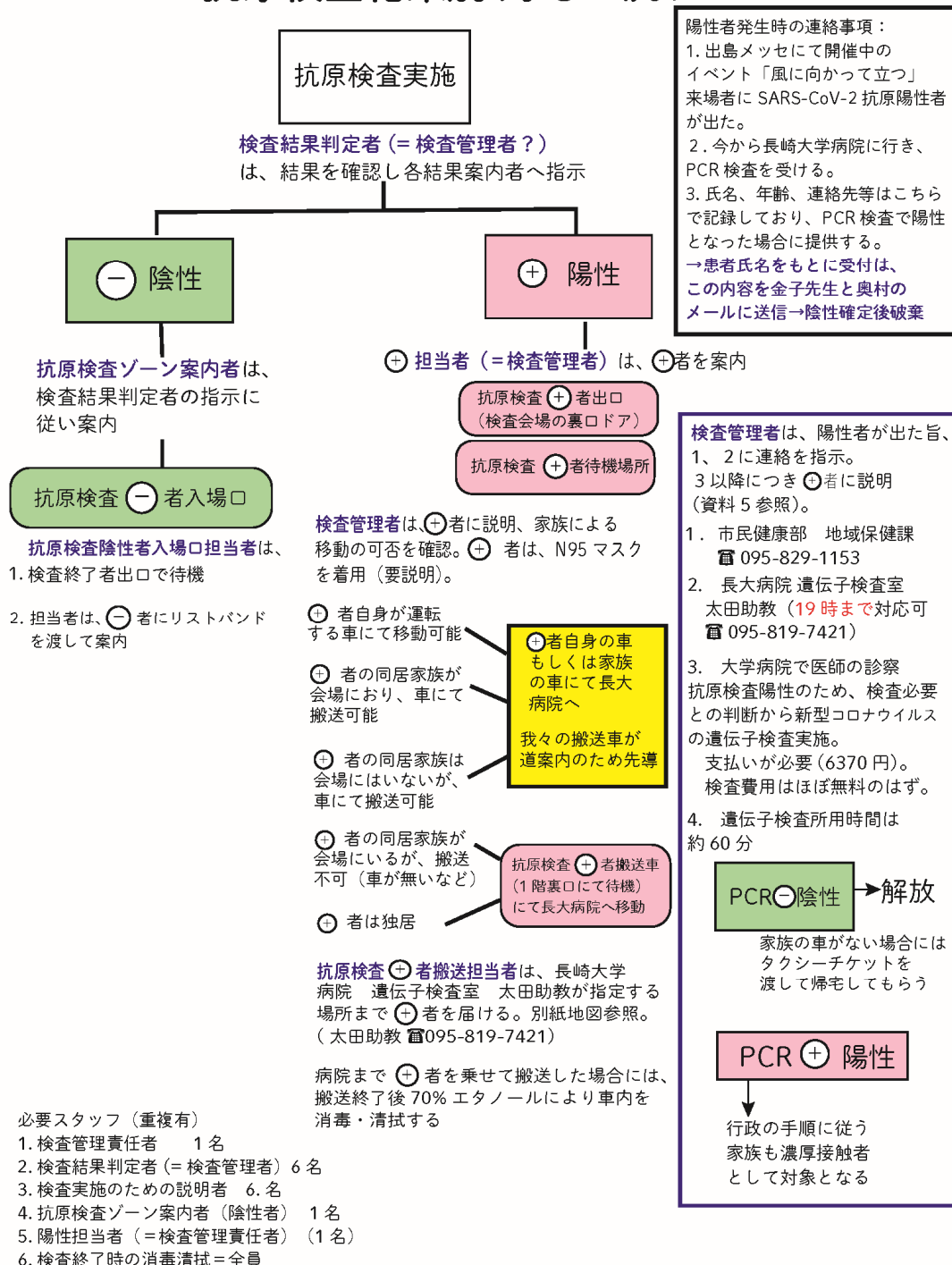
主催: 国立大学法人 長崎大学
事務局: 長崎大学 熱帯医学研究所
TEL: 095-819-7860
MAIL: withcorona_event@tm.nagasaki-u.ac.jp

////////////////////////////////////

(別添 5) 抗原検査結果別 対応の流れ

資料 3

抗原検査結果別 対応の流れ



(別添 6) 抗原検査ゾーン担当者対応チェックリスト

1. 抗原検査受付:抗原検査受付担当者

説明事項

- ☐身分証によるご本人確認
- ☐入場までの流れについて説明
(検査の所要時間目安(20-40 分程度)など説明)
- ☐待機場所へ案内

2. 待機場所:検体検査待機場所担当

- ☐資料に目を通してもらうよう説明
- ☐約 8 人程度あつまったら抗原検査へ案内(案内のタイミングは臨機応変に対応) 検査ゾーンは A と B の 2 ゾーンあり。A に 8 名が着席したら、その後、B へ。別紙の検査スケジュールを参照し、検査予定時間になったら、適宜開始する。

3. 抗原検査ゾーン:検体検査説明担当者

1) 検査説明内容(重要事項の説明)

- ☐テーブルに検査キット、説明用紙をセットしておく
- ☐端から詰めて着席するよう誘導
- ☐定員(8 名前後)になったら、検査の説明を開始

説明事項

- ☐検査の所要時間は約 30- 40 分程度。検査の結果が出るまでは、その場から離れず過ごすよう伝える。
- ☐万が一陽性の場合は、保健センターへのご連絡と、医療機関で詳しい検査を受診していただく。病院の受診料金は自己負担となるのであらかじめ了承いただく(調整中)

2) 検査の手順

- ☐検査手順についてデモンストレーションをしながら案内
(予め配布している被検査者用「検査手順 (抗原グループ資料 2)」を参照)

*注意事項

- ☐6-12 歳の子どもが1人の場合、1人で検体採取できない時は親に対応を依頼。当該年齢の子どもが 2 人以上、かつ検体採取が 1 人でできない場合などは、親に1人ずつ検体採取を依頼する。スタッフによる直接の検体採取は行わない。→特別ゾーンへ案内。
- ☐その他、高齢者など自己検体採取の注意深い見守りが必要な場合は個別対応とする→特別ゾーンへ案内。
- ☐検査の手順を説明後、同じブースの方と同時に検査を行うため、検査の検体が取れたら検査液に入れるタイミングはスタッフが指示するまで待ってもらう。
- ☐検査中検査担当者はサージカルマスク、フェイスシールド、ガウン、シューズカバー、グローブを着用し、検体採取時はできれば 2m 以上離れる。
- ☐検査を終えたゴミは、検査者が自ら袋に入れ封をし、ゴミ袋に直接入れてもらう。

4. 検査終了後:抗原検査ゾーン案内係

- ☐ 判定時間がきたら(抽出液滴下後 16 分)抗原検査担当者は被検査者と検査判定
- ☐ 抗原検査ゾーン案内者(もしくは抗原検査担当者)は、⊖者を陰性者入口担当者まで誘導
- ☐ 被検査者がゾーン退出後、抗原検査担当が各ブースをアルコール消毒
- ☐ ⊕者がいた場合はその場にとどまるよう伝え、⊕担当者(奥村)に声をかけ隔離部屋へ誘導

4. 陰性者入場入口受付:陰性者入場入口担当者

- ☐ ワクチン接種者と同様の入場手続き
- ☐ 会場入り口へ案内

5. ⊕者への説明 (隔離部屋にて): ⊕担当者

- ☐ ⊕者がいると連絡を受けたら、PPE 着用し⊕者を隔離部屋に案内
- ☐ 長崎大学病院での PCR 検査を受診していただく旨を説明する
- ☐ 初診料(5500 円)検査料(870 円)は自己負担となる
- ☐ 保健所へ連絡をすることを了承いただく
- ☐ 病院まで熱研の車で送迎もしくは、同居家族がいる場合は送迎可能かどうかを⊕本人から連絡してもらう
- ☐ フローチャートに従い、⊕担当者が保健所、病院、必要時搬送担当まで連絡
- ☐ 担当者が送迎者まで送り届け、後部座席へ乗車させる
- ☐ 車外で搬送担当へ引継ぎ事項を伝える
- ☐ 出発したら⊕担当者が出発する旨を長崎大学病院へ連絡
- ☐ ⊕者搬送後隔離部屋を消毒
- ☐ ⊕者の受診後の結果確認(PCR 陽性の場合には、病院より保健所へ連絡)

6. ⊕者の搬送 (送迎車にて):送迎担当者

家族がいない場合

- ☐ ⊕担当者の指示があったら、送迎担当者は PPE(マスク、シールド、防護服、手袋)を着用し送迎場所で待機
- ☐ 社内の隔離板で仕切った後部座席へ⊕者を乗車案内
- ☐ ⊕担当者より車外で引継ぎ事項を確認
- ☐ 安全運転で指定場所まで搬送
- ☐ 院内の所定の場所にて検査担当者に引き継ぐ
- ☐ 社内をアルコールにて消毒し、汚染染しないように防護シールド、手袋、防護服、マスクを破棄し、手洗いと手指消毒。
- ☐ ⊕担当者へ消毒が完了した旨を伝える

家族がいる場合

- ☐ 家族が待機場所へ迎えにきた連絡を受けたら、⊕担当者が送迎場所まで案内
- ☐ 送迎家族に、大学病院の受付場所について案内。送迎時、マスクを着用し、会話は控え、換気をしてなるべく離れて座るように伝える

(別添 7) 抗原検査グループ使用資機材一覧

抗原検査グループ使用資機材

1. タイマー
2. 細書きマジック
3. 使い捨てグローブ、フェイスシールド、ガウン、シューズカバー
4. 廃棄用のゴミ袋 大と小
5. ミップール
6. 検査キット
7. 消毒用エタノール(スプレー容器入り)
8. キムタオル

熱帯医学ミュージアム保管

9. 検査ステーション用パーティション
10. 展示パネル
11. マスキングテープ(検査ステーション アクリルパーティションに貼る)

(別添 8) 参加者への検査の手順説明書

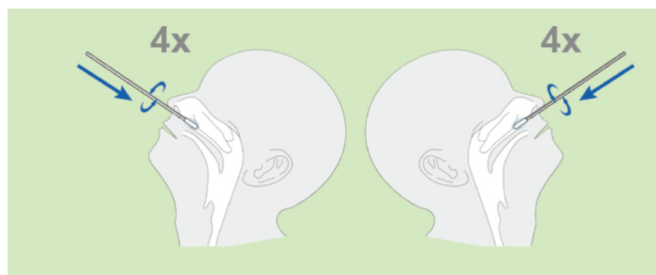
新型コロナウイルス抗原検査キットによる検査の手順

1. 準備

- ① 透明の大きな袋に入っているものを全て取り出します。
- ② 取り出した袋を敷物にして、左から、スワブ(綿棒みたいなもの)、小さなチャック式の袋、四角い袋に入ったものの順に並べて下さい。四角い袋をあけますが、中身は取りださないようにしてください。

2. 検体採取(鼻腔ぬぐい液)

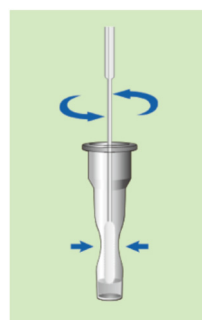
- ① 頭を後ろ側に少し傾けて下さい。
- ② スワブを回転させながら、右の鼻の穴の入り口から、約 2 cmのところまで ゆっくりと入れます。奥の壁に当たったら、そこで止めて下さい。



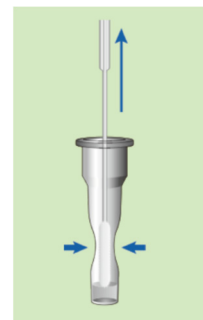
- ③ 止まったところで、スワブを4回ゆっくりと回転させます。
- ④ スワブの先端がほかの場所にふれないようにゆっくりと引き出します。
- ⑤ 鼻から取り出した同じスワブを使って、もう一方の鼻の穴に先ほどと同じように約 2 cmのところまでいれます。
- ⑥ 止まったところで、スワブを 4 回ゆっくりと回転させます。
- ⑦ さきほどと同じようにスワブをゆっくりと引き出します。

3. 検体の調製

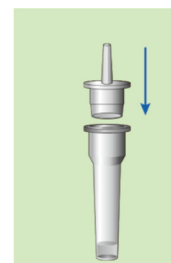
- ① 説明者がやっているように、スワブを持ったまま、落とさないようにしてチューブ容器の蓋をあけます。
- ② スワブをチューブに入れ、図 A のように容器の外側から中のスワブをもみほぐすように押しながらスワブを最低 10 回ゆっくりと回します。
- ③ 図 B のように、一方の手でチューブの外側を押しながら、もう一方の手でスワブを持ちゆっくりと液を絞り出すように引き出します。
- ④ スワブをそれが入っていた細長い袋の上に置きます。
- ⑤ 図Cのように、コマのような形をしたノズルキャップをしっかりとしめます。



A



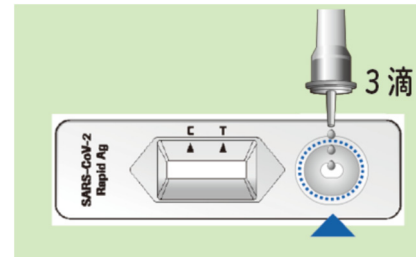
B



C

4. 検体^{てきか}の滴下

- ① ノズルキャップをした容器を持ったまま、四角い形をした容器を袋から取り出します。
- ② SARS-CoV-2 Rapid Ag と書いてある方を左側にします。右端に楕円形の形をしたくぼみがありますので、そこにノズルキャップの容器をさかさまにして中の液を **3 滴**、ポト、ポト、ポトと落とします。



5. 結果の判定

判定には 15 分以上必要ですので、今から 15 分間待ちます。**この間、容器などを触らないでください。**タイマーがなったら、スタッフが各席を回り一緒に判定しますので、その指示に従って下さい。

(別添 9) 抗原検査陽性と判定された方（家族も含む）への説明と対応

1. 本日の抗原検査の結果、陽性と判定されました。
2. 検査キットの特性で、どうしても検査の精度、つまり正しく感染しているかどうかを判断するには限界があります。本日使用した検査キットで陽性と出ても 0.6%くらい(1000 人中 6 人)の方が陰性である場合があります。
3. ですから、〇〇さんの場合、陽性である可能性は否定できませんが、もしかしたら陰性かもしれません。
4. 正確に判断するためには、再度〇〇さんから検体を取って PCR 検査、つまり新型コロナウイルスの遺伝子が含まれているかどうかを調べる必要があります。
5. このため、今から長崎大学病院にお連れいたします。
6. 車ですが、本日、ご自身で運転して来られていれば、ご自身で、あるいは、ご家族と一緒に車で来られていれば、その車で長大病院まで行くことができますが、どういたしますか？ご家族が、今現在、来られていなくともこちらに車で来て頂き病院まで〇〇さんをお連れ頂けるのであれば、それも可能です。何ら、移動手段がなければ私共の車でお送りします。
7. 自分で車を運転か、家族の車に同乗か、イベントで準備した陽性者搬送車両かを決定し、抗原検査陽性者搬送担当者に依頼(△△運転、□□同乗)する。
8. 費用の点ですが、この会場での検査は行政による検査などではありませんので、まず、長崎大学病院で、医師による診断の後、検査の指示をもらう必要があります。恐縮ですが、支払いが必要となります。選定療養費 5500 円と初診料の 3 割にあたる 870 円の合計 6370 円です。
9. 検査開始後から結果が出るまでには 1 時間ほどかかりますので、病院でお待ち頂く必要があります。
10. PCR 検査の結果、陰性であれば、お帰り頂くことになります。しかし、時間的制約から残念ながら、本日のイベントには参加頂くことは叶いません。その旨、ご理解願います。
11. 万が一、PCR 検査の結果が陽性であれば、長崎市の保健所の指示に従ってい

抗原検査キットの特性と限界

1) 感度

89% (95%CI: 83.7-93.1)
正しく陽性とわかる割合
病気があるグループでの検査の
陽性率(真の陽性率)

2) 特異度

99.7% (95%CI: 98.4-100)
正しく陰性とわかる割合
病気が無いグループでの検査の
陰性率(真の陰性率)

3) 陽性適中率

99.4% (95%CI: 96.8-100)
陽性と判定されたうち真の感
染者の割合

4) 陰性適中率

94.1% (95%CI: 91.2-96.3)
陰性と判定されたうち真の非
感染者の割合

特異度が非常に高い検査は陰
性結果で病気を否定することが
できる。

ただくこととなります。また、同居のご家族やご友人など濃厚接触者にあたる方々も保健所の指示に従って頂きます。このことを予めご理解、そしてご承知願います。

抗原検査陽性者搬送担当者に関する手順

12. 抗原検査陽性者搬送担当者（以下、搬送担当者と略す。被検査者に接触する際、同乗有の際には[防護服などを着用](#)すること）は、下記の対応をとる。
 - 12.1. 被検査者（抗原検査陽性者）自身による運転 もしくは 家族車両による移動の場合： 搬送担当者は病院の所定の場所まで陽性者が乗車する家族車両を先導し、到着後、検査担当医の指示する場所に案内する（地図_PCR 検査場所 参照）。
 - 12.1.1.1. 家族は、検査結果がでるまでその場もしくは自宅で待機することになるが、いずれにするかは、検体採取時を行う医師に尋ねること。
 - 12.1.1.2. PCR⊖ 陰性の場合： 被検査者（抗原検査陽性者）は、家族とともに解放
 - 12.1.1.3. PCR⊕ 陽性の場合： 被検査者、家族共に、保健所の指示に従う。
 - 12.2. イベントで準備した陽性者搬送車両による移動の場合： 搬送担当者は、被検査者を後部座席に寄せ、病院の所定の場所まで送り（[エアコンは外気入れモードで最大にし、前の窓は閉じ、後部座席の窓は 1～2cm 程度開ける](#)）、検査担当医の指示する場所に案内する（地図_PCR 検査場所 参照）。
 - 12.2.1. 搬送担当者は、被検査者（抗原検査陽性者）に[タクシーチケットを渡す](#)。結果に関わらず、使用して構わないことを伝える。「1 回のみの使用が可であること、上限は 5000 円までであること。」を伝えること。
 - 12.2.2. PCR⊖ 陰性の場合： 被検査者は解放（帰宅）
 - 12.2.3. PCR⊕ 陽性の場合： 被検査者は、保健所の指示に従う。
 - 12.3. 病院での対応が終了後、搬送担当者は、被検査者（抗原検査陽性者）が同上した場合には、座席を消毒用エタノールで消毒・清拭する。
 - 12.4. 出島メッセに戻り、到着したらその旨 XX さんに連絡（080-XXXX-XXXX）

以上

(別添 10) 抗原検査グループにおける想定 Q & A

(2021 年 12 月 9 日開催 ライオンイベントのために作成)

Q1: 新型コロナウイルス抗原って何ですか？

新型コロナウイルスの構成成分であるたんぱく質を、(ウイルスに特異な抗体を用いて)検出する方法です。陽性の場合ウイルスが存在する可能性を示しますが、念のため、PCR 検査でウイルスの存在を再確認します。

Q2: 抗原検査結果を印刷したものを何故、もらえないのか？

ここで実施している抗原検査は、その性質上、陰性となっても「今、この瞬間、あなたが新型コロナに感染している可能性は低い」ということを示すもので、感染の可能性が「ゼロ」であることを保証するものではありません。また、結果は、このイベントにおいてのみで有効です。そのため、陰性証明書を発行することはできません。政府のワクチン検査パッケージ制度においても必ずしも結果通知書の発行は要しないとされています。

PCR 検査:

検査するウイルスの遺伝子を専用の薬液を用いて増幅させて検出する方法。体内にウイルスが存在するかどうかと調べる時に実施。

抗原検査:

検査するウイルスの抗体を用いてウイルスが持つ特有のタンパク質(=抗原)を検出する方法。インフルエンザの検査は、この方法が一般的。

抗体検査:

過去にそのウイルスに感染していたかどうかを調べる検査。ウイルスに感染すると形成される血液中のたんぱく質(=抗体)が血液中に存在するかどうかを調べる。体内に抗体ができるまでには時間がかかるため、現在そのウイルスに完成していないことの検査に用いることは難しい。

Q3: もし、抗原検査が陽性になったらどうなるのか？

抗原検査が陽性になった場合には、長崎大学病院で PCR 検査を受けて頂きます。そこで、PCR 検査陽性となれば、その後は長崎市保健所の指示に従って頂きます。

Q4: 新型コロナワクチンを 2 回接種している人でも感染を起こす(ブレークスルー感染)というのに、新型コロナワクチンを接種していない人だけ、抗原検査をする意味はあるのか？

確かに、新型コロナワクチンを 2 回接種していても新型コロナウイルスに感染される方があります。しかし、それらの方々はワクチンを接種されていない方に比べると体内におけるウイルスの量が少ないと考えられています。また、抗原定性検査(本日、ここで実施する検査)は、無症状の感染者のうちウイルス量が多いものを発見することにより、場の感染リスクを下げる事が出来るという考えに基づき実施しています。11 月 19 日に政府は、「抗原定性検査は、事前に PCR 検査などを受検することが出来ない場合にも対応する観点から、抗原定性検査も利用可能とする。」としています。

Q5: 今日、ここで使用している検査キットの製造会社などの情報を書面でもらえるか？

本日、使用した抗原定性検査キットは、日本政府が令和 3 年 11 月 8 日付で承認したものの一つであるという事しか申し上げられません。理由は、会社名をいうことで、主催者である長崎大学がその特定の企業のものを推奨するような誤解を避けたいからです。

(別添 11) イベント会場にて実施したワクチン・検査パッケージについての調査

ワクチン・検査パッケージについてのアンケート

本日は「ウィズ・コロナイベント風に向かって立つ」にお越しいただき、誠にありがとうございました。
ワクチン・検査パッケージに関してご意見をお寄せ下さい。

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10歳未満 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

Q1. 今回どちらの受付を利用しましたか。

☐ ワクチン接種済み受付 (A受付) ☐ 抗原検査受付 (B受付)

Q2. 今回、政府の発表したワクチン・検査パッケージに準じた仕組みによりイベントを開催しましたが、受付と入場の対応について、どのように思われましたか？ (複数回答可)

☐ 手続が面倒であった ☐ 感染の心配がなくて安心した ☐ 手続の理由が分からなかった
☐ その他 (以下ご記入下さい)

Q3. 今後、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域に指定された場合、イベント開催や観光、飲食・宿泊の利用にワクチン・検査パッケージが適用される予定です。感染が再拡大した場合、本イベントと同様のワクチン・検査パッケージによるイベントの参加や観光、飲食・宿泊の利用をされますか？

☐ 利用する ☐ 利用しない

↓
Q3-1. (Q3で「利用しない」と答えた方) なぜ利用したくないと思いますか。 (複数回答可)

☐ 登録が手間 ☐ 検査が手間 ☐ 感染が心配
☐ その他 (以下ご記入ください)

Q4. 本イベントをどこで知りましたか。

☐ イベントウェブサイト ☐ さだまささんのウェブサイト ☐ 新聞広告 ☐ 口コミ
☐ バス停掲示板 ☐ Facebook広告
☐ その他 (以下ご記入ください)

その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください

--

ご協力ありがとうございました。



長崎大学

熱帯医学研究所

Institute of Tropical Medicine,
Nagasaki University